

歳入歳出決算を徹底審査



青木委員長と渡部副委員長

平成29年度の各会計歳入歳出決算について審議するため、決算特別委員会を設置しました。

委員長に青木美貴子議員、副委員長に渡部正司議員を選出し、9月13日・14日の両日開催され町長提出の8会計を、慎重に審議した結果、水道事業会計を不認定とし、それ以外のすべての会計の決算を認定しました。

主な質疑・答弁

〈道の駅の負担金について〉

質問：道の駅負担金増の理由は？

答弁：河岸への漂着物の増加に伴う処分費用の増と除雪経費の増によるものである。

〈環境美化推進員について〉

質問：具体的にどのような活動をしているのか？会議の内容は？

答弁：全体で100名。年1回研修会を実施している。活動内容はごみの分別収集の指導など。

〈放射能汚泥の管理について〉

質問：仮置き場は撤去したが、中間貯蔵施設に搬出できない汚泥などは継続して管理しているか？

答弁：搬出する順番待ちであり、継続して管理している。

〈非常勤職員について〉

質問：非常勤職員の人数、働き方改革の制度改正による影響額は？

答弁：全体で約80名。一時金を支給した場合の影響額は3千万円超となる見込み。

〈空き家問題について〉

質問：空家の数と特定空家の数は？特定空家はどうか？

答弁：空家365軒、特定空家は8軒である。今年度再度調査予定である。所有者・相続人に勧告している。今後の対応は検討中。

〈乗合バスの負担金について〉

質問：バスの負担は総額で1億円を超えている。毎年これでは大変であり、見直す考えは？

答弁：路線バスは通学にも使用しているので、継続していきたい。乗降調査等によりダイヤの見直しを実施していきたい。

平成29年度各会計決算審査（監査委員）

一般会計ほか7特別会計の決算審査は、7月17日～7月26日まで課ごとに実施されました。8月9日に決算審査の講評を実施し、8月24日に町長へ意見書を提出しました。

意見書では、「町民税の増収等は見られるが、都市部のような回復感を感じない。依然として地方交付税、国

県支出金や地方債に頼った厳しい財政運営が続いている。歳入のうち町税では、収納率向上の取り組みによって、前年比1・93%増加していることが評価される。

歳出では、人件費・公債費は減少しているものの、物件費、補助費、扶助費等が増加しており、健全化判断比率については、前年に比べ改善されているものの、未だ高い数値にあるので公債費負担適



正化計画により一層の注意を払ってほしい。財政健全化を進めていくためにはこれまでの考え方を変え、斬新かつ大胆な歳出削減策、企業の改革手法の導入や更なる事業の見直しなど、単年度収支と実質単年度収支の黒字化に向けた取組を近々に調査・検討する必要があると考える。

財政改革は、行政運営に対する町民満足度と財政出動の両立を図り、町民に不安を与えない行政運営を希望する。」との内容が付けられました。

平成29年度8会計の

(単位：千円)

平成29年度会計区分		歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
1	一般会計	7,591,533	7,466,552	124,981
2	国民健康保険特別会計	2,327,732	2,163,965	163,767
3	介護保険特別会計	2,168,818	2,072,081	96,737
4	後期高齢者医療特別会計	172,259	172,011	248
5	下水道事業特別会計	463,626	463,626	0
6	坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計	234,559	228,186	6,373
7	農業集落排水事業特別会計	66,060	66,060	0
8	水道事業会計 (収益的収入及び支出による)	499,456	471,162	28,294

反対討論 五十嵐一夫議員

1つに、安兵衛通りに「地区計画」という決まりがあり、建築行為時に2mの歩道を協力して、広い歩道が形成される約束である。今回スーパーの建築行為に当たり公正・公平な指導をしなかったことは許されない。

2つに、南幹線坂下町内入口地内の、スーパーによる農振地区除外後の農地転用等の手続きが、8年以上も行われないことを看過したのは不適切な事務執行である。

3つに、塔寺街なみ環境整備事業の、町道内の置石撤去は、1万円で旧公民館取得した方が自費で工事を行うべきもので、公費90万円の支出は受益者負担の原則に反する。

以上3点は容認できないので本案に反対する。

賛成討論 山口享議員

2期目を迎えられた齋藤町政は、当初から政策とされていた子ども子育て環境の充実を中心に、町の課題解決に向けて各種事業を的確に執行されたと考えます。

待機児童の解消、朝夕の延長保育、子育てふれあい交流センター事業など、子育ての環境整備は充実しています。

また、住民の安全・安心な生活を守るため、除雪サブセンターの移築工事や町営住宅外壁の改修工事、道路、橋りょうの点検業務など実施されました。

昨年は例年よりも除雪量が多かったものの、除雪作業の対応もおおむね良好でありました。

一方では、この除雪費に対応するため、各種基金を取り崩し対応しなければならない状況も見え、引き続き財政状況はひっ迫していることから、今後とも適確な予算執行に努められ、財政の健全化を推進し、日々尽力されることを期待する。

一
般
会
計

反対討論 五十嵐一夫議員

水路埋め立て工事は、水路を必要としなくなってから工事を行うべきものであり、そうすれば工事の必要性が無くなり、細々とした事業費のなかで、589万円もの支出を他の工事に振り分け事業の進捗に貢献できた。

区画整理の事業の仮換地指定と工事の進め方に大変疑問があり、本案に反対する。

坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計

反対討論 佐藤宗太議員

決算委特別委員会で指摘しましたが、平成28年度期末と平成29年度期首の有形固定資産現在高が異なるなど、不適切な会計が明らかになりました。減価償却のためなどの答弁がございましたが、疑念を払拭するには十分とは言えず反対せざるをえません。今後、適切な会計執行することを望みます。

水
道
事
業
会
計

議会の動き

町長へ提言書提出

昨年の「ばんげ未来トーク」において、皆様から頂いた意見をまとめて、町長へ提言書を提出しました。



埼玉県熊谷市視察受入れ

去る8月10日に、熊谷市議会議員が行政視察に来庁し意見交換しました。



西日本豪雨災害義援金

議会議員互助会より、西日本豪雨災害に対して、社会福祉協議会へ義援金を渡しました。

